

日本人英語指導助手が2年間限定で全小学校を巡回、指導力を高めた担任と専科教員との両輪で授業を改善

千葉県 習志野市教育委員会、習志野市立向山小学校、同市立谷津小学校

千葉県習志野市は、2020年度から2年間、日本人英語指導助手（ティーチング・アドバイザー、以下、TA）が全市立小学校を巡回し、学級担任が行う英語の授業を見て、指導・支援する事業を実施。8割以上の教員が自信を持ってT1で授業ができるほど指導力を高めた。加えて、英語科の専科教員を全市で7人配置し、英語の専門性の高い指導も推進。それらの結果、新学習指導要領実施前と比較し、すべての小学校で英語アセスメントのスコアが伸びるという成果が出た。

プロフィール

千葉県習志野市

◎東京都心部の30km圏内にあることから、高度経済成長期にベッドタウンとして発展。人口は現在も増加傾向にある。20年以上前から、中学校のALTは姉妹都市のアメリカ・アラバマ州タスカルーサ市から派遣される直接雇用で、英語の言語活動の充実を支えている。

習志野市立向山小学校

◎学校教育目標は、「主体的に学ぶ力と豊かな心を持ち、健康でたくましい児童の育成」。2015年度から、教育課程特例校として、1～6年生の外国語活動・外国語科を設置。

習志野市立谷津小学校

◎学校教育目標は、「国際社会の中で、信頼される心豊かな人の育成～一人ひとりが輝く谷津っ子～」。市内一の大規模校。管弦楽クラブは全国大会の常連で、優勝や金賞を何度も受賞。



人口 約17万6,100人 面積 20.97km²
市立学校数 小学校16校、中学校7校
児童生徒数 約1万3,200人
教員数 約750人

開校 1975 (昭和50)年
校長 窪田準子先生
児童生徒数 295人 教員数 33人
学級数 13学級 (うち特別支援学級1)

開校 1950 (昭和25)年
校長 井上聡子先生
児童生徒数 1,316人 教員数 70人
学級数 44学級 (うち特別支援学級5)

学級担任が豊かな言語活動を自信を持ってできるように

千葉県習志野市教育委員会（以下、市教委）は、2020年度から2年間限定で「日本人英語指導助手（TA）派遣による小学校英語教育指導力向上プロジェクト」を実施した。すべての小学校で均質な英語教育が実践されるよう、学級担任の英語の指導力向上をねらいとして、TA2人が全市立小学校16校を定期的に訪問し、英語の授業を参観して、担任一人ひとりに指導・支援を行う事業だ。

小中学校外国語・外国語活動担当の小野章指導主事が、市教委に配属された2019年度、各学校の英語の授業を見に行くと、担任は前向きに授

業を行っているものの、英語力に自信がなく、自分の行う授業への不安がうかがえた。市教委では、2020年度から小学校に英語科専科教員7人を配置することにしてはいたが、大規模校1校に専任を1人配置し、6人で12校を分担する体制で、専科教員がいない学校も3校あった。また、専科教員がいても、すべての英語の授業には対応できず、担任が英語指導の中心を担うことが想定された。

「子どもからは、楽しく英語を学ぼうという姿勢を感じました。しかし、小学校英語の教科化を、中学校の学習内容の前倒しと捉えて授業をすると、子どもは英語学習が楽しくなくなり、英語嫌いになる子が増えそうです。小学校英語教育が大切にして



習志野市教育委員会
指導課 指導主事

小野 章

おの・あきら

小中学校外国語・外国語活動・生徒指導担当。公立中学校英語科教員を経て、2019年度から現職。



習志野市立向山小学校
研究主任

吉田 満江

よしだ・みつえ

同校に赴任して6年目。3学年担任。中学校英語科教員の経験を持つ。



習志野市立谷津小学校
外国語主任

秋元 由理

あきもと・ゆり

公立中学校の英語科教員を経た後、同校に赴任して4年目。外国語専科教員。国際理解教育担当。

いる豊かな言語活動を、担任が自信を持ってできるような支援が必要だと考えました」(小野指導主事)

TAが日常の授業を見て、 具体的ですぐ使える技を伝授

市教委はALTの派遣会社に相談し、TAには、小学校英語教育指導者の資格認定を行う団体「J-SHINE」*1の有資格者で、小学校での指導経験があり、児童英語に精通している2人を雇用。小学校全16校を2人で分担し、1週間単位で同じ学校に訪問し続けられるようにした。学校側から見ると、2か月に1回、1週間ずつTAの指導・支援を受けたことになる。

TAの支援内容は、①担任の英語指導力向上のための支援、②専門性を生かした授業への直接的な支援、③校内の英語教育体制づくりの支援(図1)で、そのうち最も重要な役割は、担任の英語指導力向上のための支援だ。TAは、担任がT1として行う授業を見学。基本的な英語表現など、教員自身の英語力に関することから、教材の提示方法や褒め方など、指導に関することまで、担任一人ひとりの課題に応じたアドバイスをした。

市教委では、事業期間中は、専科教員が配置された小学校でも、担任がT1として授業を行うことを推奨。担任も、TAから英語指導について多くを学べるよう意欲的に取り組んだ。同市立向山小学校の研究主任の吉田満江先生は、TAのアドバイスは授業にすぐ役に立つものだったと語る。

「TAのフィードバックは、例えば、クラス全体で音読してから個人で音読する、ビンゴカードは授業前に記入させておくと、すぐゲームに入ることができて発話量を確保できる、文字指導では、4本線を1階、2階、地下と言うと、子どもは理解しやすい

図1 習志野市「日本人英語指導助手(TA)」の概要

- 目標** 1年目：担任が教科書を活用しながら、1時間の授業を組み立て、担任単独で授業を行うことができるように指導力を高める。
2年目：担任が各単元の見通しを持って授業を組み立て、単元の終末に心が通うコミュニケーション活動を実施することができるように指導力を高める。
- 活動内容** 主に以下のことを実施。

①担任の英語指導力向上のための支援	担任の授業を参観し、単語の発音やクラスルームイングリッシュの使い方、子どもへの教材の提示や指示の仕方、褒め方など、直接的な技術指導、アドバイスの実施(日常的な校内授業研究) 外国語指導力向上計画に従って、計画的・段階的に指導技術を伝達
②専門性を生かした授業への直接的な支援	担任単独・担任とALTの授業をT2・T3として支援し、3～6年生の幅広いニーズに対応 ALTと打ち合わせをし、担任の意向をALTに伝えて、役割分担や活動目的を明確化 担任を支えるティーチングプランの提案と、ALTへの直接指導
③校内の英語教育体制づくりの支援	発音、クラスルームイングリッシュ、Small Talkなど、英語力向上に関するミニ研修 指導やパフォーマンス評価など、指導力向上に関するミニ研修 外国語主任の相談相手として、校内の外国語学習環境整備を推進

*習志野市教育委員会の提供資料を基に編集部で作成。

など、どれも具体的でした。自分ではうまくできたと思う授業でも、TAが客観的な視点で見ってくれるので、毎回気づきがありました。こちらの質問にも具体的に答えてくれるので、大半の先生が、授業を見てもらったその日の休み時間や放課後に、TAのフィードバックを受けていました」担任がTAと話せなかった場合、TAがアドバイスを書いた紙を机の上に置くなどして、フィードバックを迅速に受けられるようにした。ほかにも、TAは、学校の要望に応じて、担任の代わりにALTと授業の打ち合わせをして担任の意向を伝えたり、英単語の発音やSmall Talkなどについての教員向けのミニ研修を行ったりした。

担任ならではの授業と、 専科教員の専門的な授業を併用

そうした継続的な支援が功を奏し、事業期間の2年間で、8割以上の教員が自信を持ってT1で英語の授業をできるレベルに達した。中でも熱心

な教員は、その学校の英語教育をリードできるレベルにまで成長した(市教委とTAによる評価)。

「市教委では学校訪問を年に数回実施していますが、授業の質がだんだん高くなっていくのが見て取れました。担任は安心して英語を発音し、クラスルームイングリッシュを使いこなしていました。そして、担任ならではの、子どもの状況を理解した上での授業が、どの学校でも行われるようになっていきました」(小野指導主事)

各学校は、自校の状況に応じて、子どもを理解している担任ならではの授業と、専科教員の専門性を生かした授業の双方を使い分けている。

例えば、1学年6学級の大規模校の同市立谷津小学校では、聞く・話すの言語活動が中心となる3・4年生は、担任とALTのチーム・ティーチングとし、読み書きの指導が加わる5・6年生は、元中学校英語科教員の専科教員が担当している。

同校で英語を専科で担当する秋元由理先生は、子どもの発言から和製

*1 特定非営利活動法人小学校英語指導者認定協議会。英語教育指導者の資格認定を行う団体で、認定する資格は、指導経験時間や英語力に応じて6段階ある。

英語を取り上げて正しい英語表現に導いたり、冠詞や不定詞が抜けていたら正しく発音できるように手本の音読を繰り返したりと、自身の専門性と経験を生かし、中学校英語とのつながりを意識した指導を行う。一方で、担任が行う指導のよさも取り入れ、5年生なら5年生のクラス担任に協力してもらい、教員を素材に取り入れたクイズ形式の教材などを作成している（授業レポート参照）。

「教材によく知っている先生が登場すると、子どもに安心感が生まれ、教

室が温かくなります。知りたいという気持ちを高める効果もあるので、担任のことは授業中によく取り上げます」（秋元先生）

担任が協働で練り上げ、心の通った言語活動に

一方、専科教員が配置されていない同市立向山小学校では、2015年度から、教育課程特例校として1～6年生で英語の授業研究を積み重ねてきた。その蓄積に加え、TAの派遣

によって担任の指導力が大きく向上。教職3年目の教員が、吉田先生と一緒に新たなゲーム（表紙写真）を考案するほどだ。

「1学年2学級なので、担任同士で話し合い、1組が行った授業を改善して2組でも行うなど、PDCAサイクルを回しやすいです。今回3年生で行った活動は、友だちの好きな食べ物やスポーツを尋ねて、そのカードをそろえるというゲームで、子どもは意欲的に発言していました。担任が子どもの関心を的確に把握し、活動の

授業レポート

5年生 外国語科（谷津小学校 授業者：秋元由理先生）

本時のめあて：夢の時間割を作って、たずねたり、答えたりしよう

1 めあての確認、単語練習



本時のめあてを確認した後、フラッシュカードとモニターで、本時で活用する単語を音読。表示された日本語の英単語を答える活動も行った。

2 ダイアログ・ゲーム



前時までに作った各自の夢の時間割を基に、「What do you want to study?」「I want to study～」のやり取りを、3分間で5人と行った。

3 全体でクイズ活動



「What do you want to study?」の質問に、5年生の各学級担任が答えた教科名を、モニターに映された画像をヒントにして答えるクイズを行った。

4 辞書で英単語を調べる



ヒントの画像に算数の小数が登場すると、「“小数” in English. Dictionary!」と先生。子どもは一斉に和英辞典をめくり、調べた子どもが挙手して発表。

5 ペアトークで時間割を確認



「Do you have Math on Monday?」などと隣同士で質問。自分が作った時間割と同じであれば○、違っていれば×をつけて、各ペアの○の数を発表した。

6 本時の振り返り



「Eye contact」「Big voice」「Open mind」の3項目を、それぞれ3段階で自己評価し、振り返りカードに記入した。

場面設定をすることで、心の通う活動になると改めて感じました (写真)。子どもが相手を意識して表現やリアクションを積み重ねていくことは、会話を続ける力や即興力を磨くことにつながると思います」(吉田先生)

年度初めには、異動してきた教員を対象に、吉田先生が英語の模範授業を行い、同校の英語指導の方針を共有。各学期に1回程度、各教員の実践を伝え合う研修会も行っている。

また、全学年の外国語の年間指導計画(図2)は、吉田先生が作成。言語の知識・技能は繰り返し学ぶことで身につけていくため、1・2年生の授業(年間15時間)には、3・4年生の教材や5・6年生の教科書に登場する表現を散りばめるなど、同じ表現でも学年の発達段階に応じて少しずつレベルアップして扱うようにしている。

相互の指導の理解から始める小中連携

TAによって担任の指導力が向上した成果は、子どもの英語力に表れている。英語4技能検定の結果では、2019年度の6年生と、2021年度の6年生を比較すると、16校すべてで4技能の合計スコアが伸びていた*2。最もスコアが伸びた小学校は、担任のみが指導したが、同検定のアンケートでは「英語が好き」「授業が楽しい」と回答した割合が非常に高かった。同市が重視してきた担任による子ども理解に基づいた授業が、英語学習で重要であることが示された形だ。

今後の課題は、小学校での**文字指導**と**小中連携**だ。文字指導は、例えば向山小学校では、2年生の10月頃に、体で表す文字遊びで大文字を学び、3年生でフォニックスに触れ、4年生でその定着を図る。一方、谷



写真 向山小学校で行われた3年生の英語活動の授業では、導入時に、絵カードを見て、英単語を発音する活動を行い、本時で使う英単語を練習した。

Web VIEWnext ONLINE では

向山小学校の英語活動をウェブ記事で紹介



右記の2次元コードからもアクセスできます。▶▶▶▶▶

図2 向山小学校 外国語年間指導計画(抜粋)

5年生	greeting では、あいさつ、天気等、日付、曜日は継続して扱っておくものとする		
系統	E:文字	F:家庭・学校生活・月	F:学校生活・教科
単元名	1	2	3
ダイアログ	Hello, I'm (Saki). Nice to meet you. My name is Kosei. How do you spell your name? E-M-I-L-Y, Emily. What sport do you like? I like soccer. Nice to meet you.	When is your birthday? My birthday is May 5th. What do you want for your birthday? I want a yellow T-shirt. This is for you. Here you are. Thank you.	What do you want to study? I want to study home economics. What do you want to be? I want to be a baker. Good luck!
6年生	greeting では、あいさつ、天気等、日付、曜日は継続して扱っておくものとする		
系統	A:あいさつ・自己紹介	F:家庭・学校生活 嗜好	D:旅行
単元名	1	2	3
ダイアログ	Where are you from? I'm from Singapore. What animal do you like? I like dogs. When is your birthday? My birthday is May 5th.	Where do you live? I live in Ueda in Japan. What do you usually do on Sundays? I usually watch soccer games on Sundays.	Where do you want to go? I want to go to Italy. Why do you like Italy? You can eat pizza. It's delicious.
中学1年生	下部の□囲みは Let's Talk など		
単元名	1 (小2~6年に対応)	2 (小1~3年、小5・6年に対応)	3 (小1~6年に対応)
ダイアログ	subject(math),building(bank), big letter, small letter alphabet sounds, month number, ordinal number.	I'm Moana Bell. You are a rugby fan. Are you a rugby fan? Yes, I am./ No, I'm not.	This is a lollipop. Is this a lollipop? What is this? This is Kent. He is my cousin.
		文の書き方	What time is it?

6年間を見通して指導できるよう、1~6年生の年間指導計画を1枚に集約。また、6年生の年間指導計画の下に、中学1年生の年間指導計画を入れ、中学校の指導内容と対応するようにした。
※向山小学校の提供資料を基に編集部で作成。単元名は省略。

津小学校では、5年生の6月末から本格的に文字指導を始め、ヘボン式ローマ字やフォニックスなどを、段階的に指導し、そのタイミングで子どもに辞書の活用も勧める。

小学校で文字指導が始まったことで、中学校では、入学段階での読み書きに一定レベルを期待する声もある。しかし、小学校では中学校の学習内容を前倒して行うわけではないことを、中学校に周知する必要がある。同市には、小・中の英語科主任が集まる機会が、英語科主任会議や英語科の小中連携会議など年4回ある。そこで

は、全国の英語教育の動向などの情報を伝えるとともに、小・中学校双方の英語指導の共有を強化していききたいと、小野指導主事は語る。

「小学校の英語学習を受けて、中学校の英語学習も改善が求められており、今年度から力を入れています。向山小学校は、千葉県『外国語教育小・中・高連携モデル事業』の指定校として、小・中・高の発信力を高めるための指導法と評価法を研究しています。その成果も市内に広めながら、豊かな言語活動を小中連携によって図っていききたいと思います」

*2 ベネッセが提供する、スコア型英語4技能検定「GTEC」で、全480点満点中約30点以上の伸びを示した。